

## 令和元年度第5回 聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日 時 令和2年2月4日（火）10：00～12：00  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷲見委員（会長）、天尾委員、石橋委員、神田委員、久志田委員、小池委員、齋藤委員、高坂委員、高崎委員、谷澤委員、藤間委員、広川委員、若林委員  
事務局 夏井副町長、総務課：高橋課長、山田課長補佐、小林総合政策係長、高橋主事、渡辺主事  
関係課 長谷川税務財政課長補佐、佐藤保健福祉課長補佐、高橋生活環境課長補佐、萩原産業観光課長、小林ふるさと整備課長、長川東港振興室長、田中子ども教育課長、渡辺社会教育課長

### 次 第：

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 前回会議までの検討事項
  - (2) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョンについて
  - (3) 今後の効果検証について
- 3 閉会

---

### 2 議事

#### (1) 前回

事務局 <資料1（前回会議からの検討事項）に沿って説明>  
会 長 基本目標1・施策1・農業「生産者に対する～」についてKPIが「販路拡大に取り組む生産者支援件数」とあるが、どのような支援か。  
産業観光課長 事業の詳細はこれから詰めるが、イメージとしては農業者が首都圏等へ商談に行く際の経費、ブランド化や6次産業化に取り組む場合への支援である。  
副町長 現行戦略は町が主体となって町全体で一つのブランドを作り上げようとしていたが、それだと難しいので、次期戦略ではそういった事柄について意欲があってチャレンジしたい農業者を後方支援しようという考えである。  
委 員 放課後児童クラブについて、前回の会議では「放課後児童クラブの充実」と「子どもの放課後対策等の連携と充実」を一体的にするという説明であったが、今回の資料では非掲載となっている。放課後児童クラブに関することは戦略には載らないということか。  
副町長 国は放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業：厚労省）と放課後子ども教室（放課後子ども教室推進事業：文科省）が一体化又は連携した総合的な放

課後対策を推進する方向と理解している。前回会議でお示していたのは、町の放課後児童クラブに地域のボランティアが入って子どもたちのための活動を行っていただくという内容であったが、再考すると、戦略としては放課後児童クラブのサービスを充実することが狙いなのか、国が示している児童クラブと子ども教室の将来的な一体化や連携が狙いなのかが未だ整理できていないと判断したので、この段階では掲載は見送ることとした。戦略には掲載しないが、児童クラブの充実を図る事業としては着実に実行していく。

会 長 戦略としての狙いが定まったり、状況の変化によっては今後復活して掲載することもあるか。

副町長 戦略策定後となる来年度以降は年2回程度でこの会議を開催する予定。1回目は前年度の検証と2回目は次年度の方向性についてご意見をいただく。また、5年のうちの途中で中間評価を行い、見直しもかける予定。そのなかで児童クラブの戦略の方向性が詰まってくれば、追加や見直しも考えていきたい。

委 員 さくらんぼやぶどうなどがあるのだから、交通機関や旅行事業者と連携して、観光ルートとして作っていくような、農業と観光との一体的な推進は考えられないか。

副町長 聖籠町において果樹は観光としても重要な資源。昨年度はレストランバスのツアーのなかにさくらんぼを組み込んでもらったという実績もある。時季限定という問題があるが、関係する事業者さんとのタイミングが合えば、観光と組み合わせたいという思いはある。

事務局 <資料2（聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略）に沿って説明>  
委 員 p49 臨海西公園の工業用地としての売却とあるが、具体的なタイムスケジュールがあるのか。この他にも東港工業地帯の企業誘致に向けて町の土地を斡旋するなどの考えはあるか。

副町長 臨海西公園売却については、まずは画の変更が必要であり、現在、新潟県にその作業をお願いしているところ。具体的なスケジュールは県の計画変更後となる。東港工業地帯での町の所有地は臨海西公園だけである。

委 員 (1) p55 基本目標2の KPI 体系図について、プログラミング教育に関する KPI など記載されていないものがあるがその意図はあるか。(2) p54 の4-③の KPI で「幼稚園教育の肯定的評価の割合」とあるが幼稚園だけの教育では対象が狭いと思うが、どう考えるか。(3) p57③-1 の KPI で、高齢者の活動として「収入を伴う仕事」「集落の行事」「町の行事」「老人クラブ」「趣味サークル」「ボランティア」の6項目があるが、高齢者の活動はこれだけではないと思う。例えば、地域の茶の間はこの6つの項目に含まれているのか。

事務局 (1)p55 の KPI の体系図だが、施策4「未来を創る子どもの育成」は個々の事業の KPI がたくさんあるので、その全体的な KPI のみを記載しており、特

に意図はない。記載ぶりは他分野とのバランスをみて再度検討したい。

副町長 (2) 私立保育園等とも町の教育方針とうまく連携するかたちで幼児教育を進めたいと思うが、具体的な園の運営となると私立としての建学の趣旨からも町が立ち入れない部分がある。KPI として測定・評価できるものとしては町立幼稚園とならざるを得ないと考えている。(3) 例えば、地域の茶の間について明示的に選択肢としていないので、地域の茶の間に通われている方が6項目のいずれかを選択したか、あるいはしなかったかは把握していない。今後、アンケートを行う際は、シニアの方々の活動をしっかり把握できるような設問、選択肢を工夫したいと思う。

委員 幼児教育については、私立園にも町の意向を反映して運営してほしいという考えがあるのであれば、私立園も含めて質の向上を目指していくべきと考える。

副町長 趣旨はご指摘のとおり。KPI としては測りうる、コントロール可能な指標という制約から町立幼稚園としている。

委員 p58「健康づくりポイ活事業」はむしろスポーツなどの健康づくりが主な事業だと思う。KPI について国保特定健診受診率とするのは違和感がある。

保健福祉課 何を KPI にすべきか検討したが、測りうる指標という点で国保特定健診受診率とした。健診受診も健康づくりの一つと考えている。KPI は国保としているが、保険加入者は社保の方が多い。今後は社保加入者の健診受診率も追跡したい。

副町長 ポイ活がまだ事業として具体的に設計されていないから、現時点では KPI が設定しづらいというのが正直なところだが、この点については、今後、事業の中身が詰まってきたところで、より適した K P I に見直しができるかと考える。

委員 東港の未操業地は何社あるか。未操業企業に対して町はどのような働きかけをしているのか？

東港振興室長 未操業企業は3～4社である。未操業企業へは年一度程度こちらから出向いて状況を確認している。各企業の事情があり未操業という状況。

会長 今回の戦略案では固定資産税収を KPI に設定し、現状維持を目標としているが、それはどの程度実現できるのか。聖籠町にとって固定資産税収の推移は施策全般に影響を及ぼす。より実態を把握したうえで計画を立てていくことが重要だと思う。

副町長 償却資産の固定資産税収は資産の逐年減価によって毎年減収となるので、それを補うためには企業の進出や設備投資が行われる必要がある。新たな投資に関するいろいろな話をお聞きしたりするが、そうした機会を逃さないよう努力したいと考えている。

会長 人口ビジョン p30～人口構造の変化についてグラフがあるが、人口構造の変化が社会にどのような変化をもたらすかの説明を記載した方が、数値が示

す変化の情報を理解・共有しやすくなる。将来の姿をしっかりと捉えて、どのような対策をするべきかを明確にしていくことが大切。

副町長　ご指摘のとおり、人口構造の変化がどのような影響を及ぼすか、具体的記述があった方がよいと思う。

人口構造が変化し、特に75歳以上の人口が増えることで、この年齢層の健康状態が今と変わらないとすれば、医療・介護給付費は2045年までに35%増加すると試算している。医療・介護給付費は現役世代も負担していることから、現役世代の人口が減少すれば、一人当たりの負担も増加することになる。それを低減させるには、シニア世代が生涯活躍できる環境の整備とその土台となる健康寿命を延伸していくことが必要となる。また、女性と子どもの人口が減少すれば、将来的な生産年齢人口の減少につながる。聖籠町は他の自治体と比べると、人口減少は緩やかだが、当町においてもこのようなことが想定される。

事務局　＜資料3（今後の効果検証について）に沿って説明＞

会　長　今後、戦略を推進していくにあたり、今後も年2回の検証を行っていく。そのための評価シートを早めに固定しておく、継続的に確認しやすくなると思う。

委　員　評価検証の際には、プロジェクターを使って、活動状況等をみせていただくと、その改善策を考える上でイメージが付きやすい。

会　長　委員各位から様々ご意見をいただいた。5回にわたる本会議にご参加くださり感謝申し上げます。来年度以降もよろしくお願い申し上げます。

（文責　推進会議事務局　事後修正する場合があります。）